



ハンドクリームで手がすべすべ!



靴は履いてみないとわからないからね~

化粧品コーナーでは、ペアになってハンドクリームのお試し体験を行い、ほとんどの人がその商品を購入していました。

買い物の後は、昼食タイム。「普段食べられないものが食べられた。」と、皆さんの笑顔を見ることができました。

今回実施した買い物ツアーは、山北で手に入りにくい物を購入した人が多く、皆さんに満足していただけた様子でした。山北に合った買い物支援のひとつのカタチができたのではないのでしょうか。



昼食はラーメンが大人気←

縁の下の力持ち

今回の買い物ツアーの対象者への声掛けなど、陰で支えてくれた1人の女性がいます。大毎集落在住の渡辺道子さんです。

実は、渡辺さんは今回の買い物ツアーの参加者でありながら、普段、全くの無償で集落内の買い物支援に取り組んでいらっしゃるため、大毎集落に伺いました。

「金曜日の午後に豆腐屋さんが豆腐を持ってきてくれるの。それ以外は、その日によって魚屋さんが来たり、惣菜屋さんが来たり。」と語る渡辺さん。自宅に届けられた商品を自転車のカゴに入れ、集落内を走ります。



坂道が多いため、電動自転車が必要



商品が売れ残ることは無いとのこと

「焼き魚あるよー。」「じゃあ、1つもらうー。」と、玄関先でこのようなやりとりをしながら、慣れた様子で数件をまわります。日によってコースを変え、平等にまわれるように心掛けているんだとか。

総代さんから「何かできないか?」と相談されたのがきっかけで取り組みを始めたと言っている渡辺さん。「暇つぶしだよ。暇だからできるの。」と謙遜されていました。

簡単にできることではありませんが、集落には1人暮らしの高齢者も多いため、渡辺さんの取り組みに支えられている人が多いと感じました。

集落で行われているひとつの買い物支援のカタチをご紹介します。

体操して、 買い物して、 笑顔いっぱい

第1回目となる買い物ツアーは、10月31日(月)、大毎・大沢集落の70歳以上の皆さん15名が参加し、イオン村上東店に向かいました。

当日をとても楽しみにしていたという参加者の皆さん。気心知れた仲間とのお出かけに、自然と笑顔がこぼれます。

会場に着いてすぐ、さんぽくスポーツ協会の健康運動指導士の指導を受けながら準備体操を行います。その後、お目当ての商品を探しながら店内をウォーキング。さらには、イオン新商品のお試し体験をさせていただき、準備は万端、買い物スタートです。

季節の変わり目ということもあり、洋服や靴などを探している人が多い様子。これらは、実際に試着してみないと自分に合うサイズがわからないので、皆さん、納得のいく物が買えた様子でした。



楽しそうに店内を歩く参加者の皆さん ↓



地域おこし協力隊の川村さんがツアーを進行します ↓